

科目名		国際経営特論(Interanational Business)							
学年	専攻	単位数	必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数			
第2学年	経営情報工学専攻	2単位	選択	講義	前期	90時間			
担当教員		【常勤】助教 根岸 可奈子							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル		<ul style="list-style-type: none"> 事例を通じ国際経営論に関する理論や原則を説明できる。 各産業の国際的な特性を説明できる。 英語を使って国際経営に関する内容のプレゼンテーションができる。 							
到達目標(評価項目)		優れた到達レベルの目安	良好な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
到達目標①		事例で用いられた理論を説明できる。加えて、理論と事例の齟齬を指摘し解決策を提案することができる。	事例で用いられた理論を説明できる。加えて、理論と事例の齟齬を指摘することができる。	事例で用いられた理論を説明できる。	事例で用いられた理論を説明できない。				
到達目標②		産業ごとの国際的な特性を理解し理由を論じ、独自の考察を述べることができる。	産業ごとの国際的な特性を理解し理由を論じることができる。	産業ごとの国際的な特性を理解することができる。	産業ごとの国際的な特性を理解できない。				
到達目標③		英語を使い必要な情報を収集しまとめ、企業分析を行い、独自の考察を述べることができる。	英語を使い必要な情報を収集しまとめ、企業分析を行うことができる。	英語を使い必要な情報を収集しまとめることができる。	英語を使い必要な情報を収集しまとめることができない。				
学習・教育到達目標		(C)②	JABEE基準1(2)		(d)-1				
達成度評価(%)									
評価方法	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
指標と評価割合									
総合評価割合		50			50				100
知識の基本的な理解【知識・記憶、理解レベル】		○							/
思考・推論・創造への適用力【適用、分析レベル】		◎							
汎用的技能【論理的思考力】		○			○				
態度・志向性(人間力)【主体性】					◎				
総合的な学習経験と創造的思考力【創成能力】					○				

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	国際経営論、外国事情
教科書	『「ケースに学ぶ国際経営」吉原英樹他著、有斐閣ブックス』
補助教材等	適宜雑誌記事、新聞記事を配布する。
学習上の留意点	
<p>経営情報学科5年次国際経営論の発展段階に位置づけられる科目です。前半は国際経営に関するテキストを輪読します。ここで基礎事項の再確認と理論の事例への適用ができるようにしてください。後半は英語で簡単な企業分析をし、プレゼンテーションができるようにまとめていきますので、日ごろから専門科目だけではなく英語にも親しんでおいてください。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>少人数で実施される科目です。前半の輪読では、積極的に意見や質問を出して議論してください。後半の分析パートでは与えられた課題に対し規定された時間内にきちんと結果を出すよう心掛けましょう。</p>	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	講義紹介	講義の進め方、評価方法について説明できる。	(予習)シラバスに目を通す (復習)シラバスおよび配布資料の見直し
2	国際経営とは、国際経営戦略	国際経営の多様化や基本的な戦略について事例を用いて説明し意見を述べるができる。	(予習)1回の見直し (復習)2回内容のまとめを行う
3	国際経営組織、国際マーケティング	多国籍企業の組織や効率性と現地適応のバランスに揺れるマーケティング活動について事例を用いて説明し意見を述べるができる。	(予習)2回の見直し (復習)3回内容のまとめを行う
4	海外生産、国際研究開発とイノベーション	IBMやネスレについて事例について戦略的な意図を導出し意見を述べるができる。	(予習)3回の見直し (復習)4回内容のまとめを行う
5	国際人的資源管理、国際経営財務	人的資源の国際化や多国籍企業の財務について事例を用いて説明し意見を述べるができる。	(予習)4回の見直し (復習)5回内容のまとめを行う
6	自動車産業、エレクトロニクス	新興国における自動車産業の活動と新興国出身企業の国際経営について分析考察できる。	(予習)5回の見直し (復習)6回内容のまとめを行う
7	IT産業、流通、生活文化財	国際経営の歴史の浅いIT産業の国際的な成長過程を中心にその特徴を説明することができる。	(予習)6回の見直し (復習)7回内容のまとめを行う
8	プレゼンのイントロダクション	英語を使って分析、プレゼンを行う手順について説明できる。	(予習)事前配布のレジюмеに目を通す (復習)当日配布資料の見直し
9	分析対象企業選定および紹介文作成	各自の研究テーマより分析対象企業を定め、英語で企業紹介文を書くことができる。	(予習)分析対象企業の候補を決める (復習)紹介文の添削、音読
10	SWOT	必要な情報を収集し、SWOT分析を行うことができる。	(予習)9回内容の見直し (復習)SWOTの裏付けをする
11	Five-Force	必要な情報を収集し、Five-Force分析を行うことができる。	(予習)10回内容の見直し (復習)Five-Force分析の裏付けをする
12	戦略的考察	2社の戦略的特徴は何であるのか、先行研究を基にしながら独自の考察を事例に加えることができる。	(予習)11回内容の見直し (復習)考察文の添削、音読
13	結論	3社の分析を通じ何が言えるのか、独自の考察を事例に加えることができる。	(予習)12回内容の見直し (復習)「結論」の添削、音読
14	プレゼンテーション	パワーポイントを用いて英語で経営に関するプレゼンテーションを行うことができる。	(予習)発表準備を行う (復習)1-7回までのレジюмеを見直す
期末試験			
15	期末試験解説	期末試験の解説を行うことにより誤った理解を訂正すると同時に同範囲について復習し各回の具体的なポイントについて説明できる。	(予習)自己採点 (復習)間違えた個所の解き直し
総 学 習 時 間 数			90 時間
講 義			30 時間
自学自習			60 時間